



CEDES
Predict. Protect. Perform.

▶ **行き詰まりを感じていますか？**

CEDES Elevate – IoTを次のレベルへ引き上げる

www.cedes.com



- ▶ **エレベーター停止時間の最小化**
中断を減らし、安全性を確保することが重要です。



- ▶ サービス事業者が直面するよくある課題



- ▶ CEDESが実現する、
より簡単なエレベーター管理



- ▶ 24時間365日の故障解析で、
予知保全を実現



- ▶ シンプルな保守サービスで、
優れた顧客体験を提供



- ▶ cegard / Smart と Elevate で、
エレベーターセンサーの力を最大限に活用



エレベーター故障の 主な5つの原因と、それ を減らす必要性

1

機械的な故障(摩耗・劣化による)

2

電気系統の問題
(電圧サージや配線不良など)

3

適切な保守・点検の不足

4

定員超過による過積載

5

極端な温度や湿度などの環境要因
による影響

エレベーターの故障は、単なる不便さを超えて大きな経済的影響をもたらします。主に商業環境において業務の生産性を妨げ、従業員の時間損失や業務効率の低下につながります。さらに、住宅や商業ビルでは頻繁な故障が入居者の不満を招き、退去率の増加や新規テナント獲得の困難につながる可能性があります。

エレベーターの修理は高額になることが多く、特に部品交換や緊急対応が必要な場合は費用がさらに増加します。

また、安全面の懸念もあり、乗客の安全を脅かすことで、所有者や管理者に法的責任や訴訟コストが発生する可能性があります。さらに、信頼性の低いエレベーターを持つ建物は資産価値の低下を招き、売却価格や賃料にも悪影響を及ぼします。このようにエレベーター故障は多面的な経済影響を持ち、企業、入居者、不動産所有者、そして不動産市場全体に影響を与えます。



市場で語られる統計は、彼らが日々直面している課題の多様性を浮き彫りにしています。

2-3x

年間の故障回数（平均）



10-30%

年間の顧客離脱率（平均）



2-3x

1件の故障を修理するために
必要な訪問回数（平均）



1/5

監査・減額される請求書の
割合（平均）



これらの課題はいずれも新しいものではありませんが、成長する市場と減少する労働力という状況が、それらをさらに深刻化させています。スキル不足や限られた成長機会の中で、サービス提供者は保守業務の最適化に取り組んでいます。

IoT対応の予知保全（predictive maintenance / IoT-enabled predictive maintenance）を活用することで、より良い計画立案が可能になり、実施された作業の正確な報告が確保され、適切なタイミングでの請求処理が実現します。また、エレベーターの状態、保守状況、将来的なアップグレードの可能性に関する透明性は、顧客との信頼関係を強化し、提供価値を高めます。



CEDESは、エレベーターセンサーのデータ活用を通じて保守業務をより容易にします。

現在のエレベーター保守業務におけるバリューチェーンは、非常に分断されており非効率です。エレベーターシステムにはすでに多くのセンサーが設置されていますが、それらが生み出すデータの潜在的な価値は、まだ十分に活用されていません。

CEDESはエレベーターセンサーデータを収集・分析することで、データ駆動型の予知保全（predictive maintenance）を簡素化し、事後対応型の保守（corrective maintenance）を削減します。これにより、ドアの異常検知やエレベーター全体の健全性モニタリングが容易になります。

このアプローチはIoT技術エレベーターシステムへシームレスに統合し、運用効率を高めるとともに、緊急時のコミュニケーション機能を強化します。

IoTに接続されたスマートエレベーターは、スマートビルディングにおいて一般的になりつつあります。



CEDES
ELEVATE

テクノロジーは、現場対応に必要な時間を削減し、サービス品質を維持しながら、より良い顧客体験を実現します。



常に状況を把握する:
24時間365日の状態監視



主導権を取り戻す:
顧客からの連絡前に対応する



初回修理成功率の向上:
原因箇所を正確に特定する



データ駆動型メンテナンス:
必要なものを必要なタイミングで
保守する



単一の信頼できる情報源:
設備のヘルス状態を追跡し、安心
を提供する

固定されたチェックリスト中心の運用から脱却し、実際に必要な修理にフォーカスする形へと移行します。

最も効果的なのは、いつ問題が発生するか、そして根本原因がどこにあるのかを事前に把握できるインサイトを提供することです。



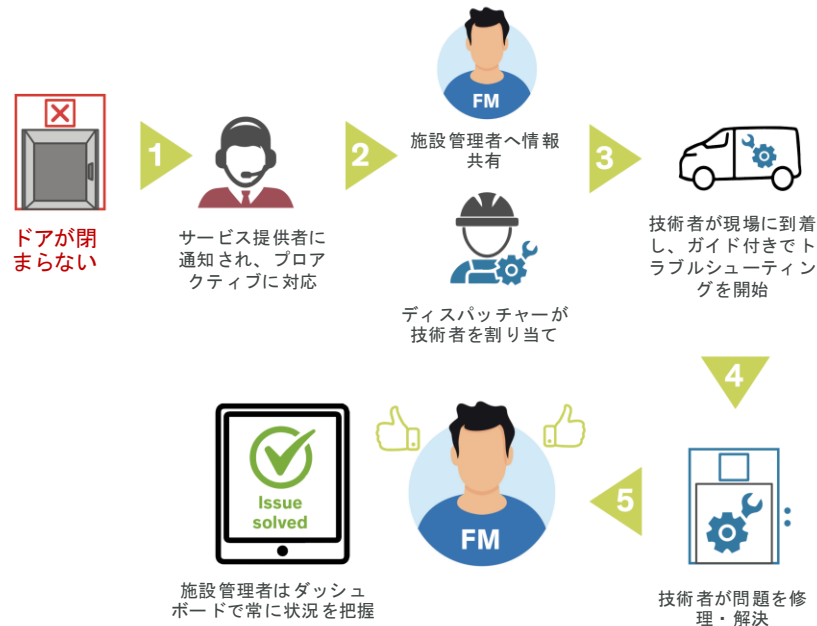
CEDES
ELEVATE

顧客サービス効率を高め、テナント満足度を向上させるためのたった1つのステップ

IoTがもたらす顧客体験への強力なインパクト

予知保全（predictive maintenance）は、エレベーターの故障対応プロセスを短縮し、問題が発生する前に潜在的な不具合を予測することで、対応のあり方を変革します。IoTセンサーとデータ分析を活用し、エレベーターの稼働状況を継続的に監視することで、摩耗や故障の初期兆候を検知します。異常が検知されると、自動的に保守チームへアラートが送信され、迅速かつ予防的な対応が可能になります。これにより技術者は、故障が深刻化する前に対応でき、ダウンタイムや利用者への影響を最小限に抑えることができます。

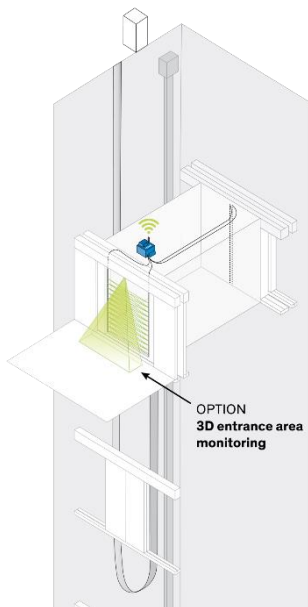
このプロアクティブなアプローチにより、修理プロセス全体が効率化されます。技術者は必要な部品や工具を事前に把握した状態で現場に向かえるため、対応精度が向上します。さらに、予知保全はメンテナンス作業のスケジュールリングを最適化し、予期せぬ故障の発生確率を低減します。結果として、エレベーターの信頼性が向上するだけでなく、顧客対応の効率も大幅に最適化されます。



IoT提供概要

CEDESは、次世代のIoT対応エレベーター戸開安全技術である *cegard/Smart ECom* 製品ファミリーシリーズを提供します。CEDESのIoTサービスである *CEDES Elevate* と組み合わせることで、*cegard/Smart ECom*はあらゆるエレベーターをコネクティビティと安全性のハブへと変革します。これにより、緊急時には音声・映像・テキスト・データ通信が可能となり、閉じ込めリスクを事前に検知し、緊急通報が発生する前から予防的に対応することができます。

cegard/Smart IoT対応ライトカーテンソ リューション



CEDES
ELEVATE

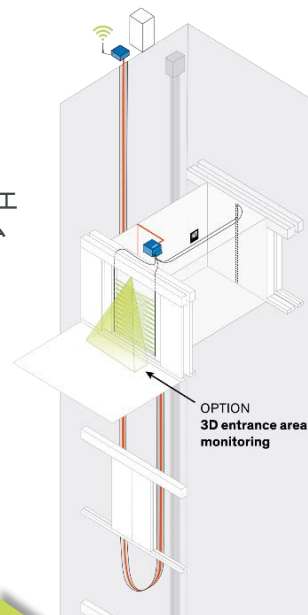
cegard/Smart
ライトカーテン (CabSafe™
オプション対応)

cegard/Smart controller
Microsoft Azureサービスおよび人工
知能ベースの制御プラットフォーム

EComgard
IoTおよび緊急通報のためのエレ
ベーター統合データ・通信ハブ

CEDES Elevate
クラウドベースのIoTプラット
フォームでスマートエレベ
ーター管理を実現

cegard/Smart + EComgard IoTと緊急通報機能の統合ソリュー ション



CEDES
ELEVATE



本質的に価値のある技術革新を通じて、
人とモノの流れに進歩をもたらす / 人と
物の流れにおける重要な進歩を生み出す